

from the cave

イメージの洞窟

意識の源を探る

TOP MUSEUM

2019年10月1日[火] - 11月24日[日]

東京都写真美術館 2階展示室

主催 | 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館、東京新聞

協賛 | 凸版印刷株式会社、東京都写真美術館支援会員

協力 | 東京造形大学、有限会社フォトグラファーズ・ラボラトリー

October 1 (Tue) - November 24 (Sun), 2019

2F Exhibition Gallery, Tokyo Photographic Art Museum

Organized by

Tokyo Photographic Art Museum,

Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture

The Tokyo Shimbun

Sponsored by

Toppan Printing Co., Ltd.

Corporate Membership of Tokyo Photographic Art Museum

In cooperation with

Tokyo Zokei University, Photographers' Laboratory Co., Ltd.

作品リスト | List of Works

凡例

- 作品データは、作品番号、作品タイトル(和/英)、作品シリーズ名(和/英)、制作年、技法・素材(和/英)、作品サイズ(縦×横mm)、所蔵(和/英)の順に掲載した。
- 作品サイズはイメージサイズを記した。
- 所蔵記載のないものはすべて作家蔵。

Notes:

- Data in the List of Works is presented in the following order: work number, *work title* (Japanese/English), *series title* (Japanese/English), production date, technique/material (Japanese/English), work size (height × width, all measurements in mm), collection (Japanese/English)
- Work size refers to image size.
- Works without collection reference belong to the artist.

志賀 理江子

Shiga Lieko

01

人間の春・私は誰なのか

〈ヒューマン・スプリング〉より

Who am I

from the series *Human Spring*

2019

発色現象方式印画

chromogenic print

600 × 900

© Lieko Shiga

オサム・ジェームス・中川

Osamu James Nakagawa

02

#001

〈ガマ〉より

#001

from the series *Gama*

2009

インクジェット・プリント

inkjet print

1,041 × 1,549

東京都写真美術館蔵

collection of Tokyo Photographic Art Museum

03

#006

〈ガマ〉より

#006

from the series *Gama*

2010

インクジェット・プリント

inkjet print

1,016 × 1,524

東京都写真美術館蔵

collection of Tokyo Photographic Art Museum

04

#009

〈ガマ〉より

#009

from the series *Gama*

2010

インクジェット・プリント

inkjet print

1,016 × 1,524

東京都写真美術館蔵

collection of Tokyo Photographic Art Museum

05

#012

〈ガマ〉より

#012

from the series *Gama*

2010

インクジェット・プリント

inkjet print

1,016 × 1,524

東京都写真美術館蔵

collection of Tokyo Photographic Art Museum

06
#023
〈ガマ〉より
#023
from the series *Gama*
2011
インクジェット・プリント
inkjet print
1,041 × 2,057
東京都写真美術館蔵
collection of Tokyo Photographic Art Museum

07
#007
〈ガマ：闇〉より
#007
from the series *Gama: Darkness*
2015
インクジェット・プリント
inkjet print
600 × 900
東京都写真美術館蔵
collection of Tokyo Photographic Art Museum

08
#034
〈ガマ：闇〉より
#034
from the series *Gama: Darkness*
2015
インクジェット・プリント
inkjet print
600 × 900
東京都写真美術館蔵
collection of Tokyo Photographic Art Museum

09
#036
〈ガマ：闇〉より
#036
from the series *Gama: Darkness*
2015
インクジェット・プリント
inkjet print
600 × 900

10
#001
〈闇〉より
#001
from the series *Yami*
2015
和紙にインクジェット・プリント、墨、酸化鉄
inkjet print on *washi* (Japanese paper) with
sumi ink and iron oxide
2,100 × 3,620 (4枚組/a set of 4 sheets)

11
#002
〈闇〉より
#002
from the series *Yami*
2015
和紙にインクジェット・プリント、墨、酸化鉄
inkjet print on *washi* (Japanese paper) with
sumi ink and iron oxide
2,100 × 3,620 (4枚組/a set of 4 sheets)

12
#003
〈闇〉より
#003
from the series *Yami*
2015
和紙にインクジェット・プリント、墨、酸化鉄
inkjet print on *washi* (Japanese paper) with
sumi ink and iron oxide
2,100 × 3,620 (4枚組/a set of 4 sheets)
© Osamu James Nakagawa, courtesy of PGI

北野 謙
Kitano Ken

13
N1
〈未来の他者〉より
N1
from the series *Others from the future*
2018
発色現像方式印画(フォトグラム)
chromogenic print (photogram)
1,950 × 1,250

14
N2
〈未来の他者〉より
N2
from the series *Others from the future*
2018
発色現像方式印画(フォトグラム)
chromogenic print (photogram)
1,950 × 1,250

15
N3
〈未来の他者〉より
N3
from the series *Others from the future*
2018
発色現像方式印画(フォトグラム)
chromogenic print (photogram)
1,950 × 1,250

16
N5
〈未来の他者〉より
N5
from the series *Others from the future*
2018
発色現像方式印画(フォトグラム)
chromogenic print (photogram)
1,950 × 1,250

17
P8
〈未来の他者〉より
P8
from the series *Others from the future*
2018
発色現像方式印画(フォトグラム)
chromogenic print (photogram)
1,950 × 1,250

18
P10
〈未来の他者〉より
P10
from the series *Others from the future*
2018
発色現像方式印画(フォトグラム)
chromogenic print (photogram)
1,950 × 1,250
© Ken Kitano, courtesy of MEM

ジョン・ハーシェル
John Herschel

19
海辺の断崖にある洞窟、ドーリッシュ、デヴォン
A cave in the cliff on beach, Dawlish, Devon
1816
カメラ・ルシーダを用いたドローイング
drawing with camera lucida
186 × 257
東京都写真美術館蔵
collection of Tokyo Photographic Art Museum

フィオナ・タン
Fiona Tan

20
近い将来からのたより
News from the Near Future
2003
ビデオ・プロジェクション
video projection
9分30秒、サイズ可変
9 min. 30 sec., variable size
© Fiona Tan, courtesy of Wako Works of Art

ゲルハルト・リヒター
Gerhard Richter

21
26. 6. 2016 (1)
26. 6. 2016 (1)
2016
写真に油彩
oil on photograph
125 × 186
個人蔵
private collection

22
26. 6. 2016 (2)
26. 6. 2016 (2)
2016
写真に油彩
oil on photograph
125 × 186
個人蔵
private collection

23

MV. 14
〈Museum Visit〉より
MV. 14
from the series *Museum Visit*
2011
写真にエナメル塗料
enamel on photograph
100 × 150
個人蔵
private collection

24

MV. 6
〈Museum Visit〉より
MV. 6
from the series *Museum Visit*
2011
写真にエナメル塗料
enamel on photograph
100 × 150
東京都写真美術館蔵
collection of Tokyo Photographic Art Museum

25

MV. 231
〈Museum Visit〉より
MV. 231
from the series *Museum Visit*
2011
写真にエナメル塗料
enamel on photograph
100 × 150
個人蔵
private collection

26

MV. 232
〈Museum Visit〉より
MV. 232
from the series *Museum Visit*
2011
写真にエナメル塗料
enamel on photograph
100 × 150
個人蔵
private collection

27

MV. 86
〈Museum Visit〉より
MV. 86
from the series *Museum Visit*
2011
写真にエナメル塗料
enamel on photograph
100 × 150
個人蔵
private collection

28

2. Jan. 2015
2. Jan. 2015
2015
写真に油彩
oil on photograph
188 × 109
個人蔵
private collection

29

3. Jan. 2015
3. Jan. 2015
2015
写真に油彩
oil on photograph
188 × 109
個人蔵
private collection

30

4. Jan. 2015
4. Jan. 2015
2015
写真に油彩
oil on photograph
188 × 109
個人蔵
private collection

31

5. Jan. 2015
5. Jan. 2015
2015
写真に油彩
oil on photograph
188 × 109
個人蔵
private collection

32

6. Jan. 2015
6. Jan. 2015
2015
写真に油彩
oil on photograph
188 × 109
個人蔵
private collection

33

22 Nov. 1999
22 Nov. 1999
1999
写真に油彩
oil on photograph
120 × 120
ワコウ・ワークス・オブ・アート蔵
collection of Wako Works of Art

志賀 理江子
Shiga Lieko

1980年愛知県生まれ。高校生の頃から写真制作を始める。東京工芸大学写真学科を経て、ロンドン芸術大学で学び、2004年に卒業。2007-2008年には文化庁新進芸術家海外研修でロンドンに滞在。2008年から宮城県名取市北釜へ移住。独自の緻密なフィールドワークを元に制作する作品群で、国際的に高い評価を得ている。『Lilly』(2007)と『CANARY』(2008)、2冊の写真集を評価されて2008年に第33回木村伊兵衛写真賞を受賞。

2018年に当館で開催した個展で新作〈ヒューマン・スプリング〉シリーズを発表。このシリーズは、肉体と精神、自己と他者、社会秩序と現代人、人間と自然の関係性への洞察を深めながら、人類を含む地球という自然を捉えなおすという、生命の存在そのものを問う試みである。

オサム・ジェームス・中川
Osamu James Nakagawa

1962年米国ニューヨーク市生まれ。1963年から1977年まで東京で育つ。1993年ヒューストン大学芸術学部にて修士課程修了(写真学)。2009年グッゲンハイム・フェローシップを受ける。現在、インディアナ大学ルースN. ホールズ特別教授、同大学総合写真研究センター長。

1980年代より本格的に写真制作を始め、1986年から1988年にかけて東京に滞在し、小川隆之に師事。日本とアメリカにまたがるアイデンティティの葛藤を軸に、記憶、歴史、家族などをモチーフに制作活動を行っている。

2006年及び2009-2010年、妻の故郷である沖縄に滞在。第二次世界大戦中の集団自決という歴史的背景のある〈ガンマ〉は洞

窟の闇を人工光と超高解像度のデジタルカメラで長時間撮影したシリーズであり、鑑賞者を独特の視覚経験へと誘う作品である。中川は一貫して、デジタル技術と特殊なプリント技法を用いて、過去の記憶を想起させるとともに、新たな写真表現を模索している。

北野 謙
Kitano Ken

1968年東京生まれ。1993年より写真家として活動。2012年に文化庁新進芸術家海外研修員として、アメリカ・ロサンゼルスに1年間滞在。東京造形大学特任教授。

自己と他者の存在、自己と社会の関係について思考するプロジェクトを重ねて制作活動を続けてきた。第27回東川賞新人作家賞、第14回岡本太郎現代芸術賞特別賞、第16回写真の会賞を受賞。〈未来の他者〉(2017-)プロジェクトは、フォトグラム*を用いて、乳児の輪郭を印画紙に焼き付けて制作している。数ヶ月前までこの世に存在しなかった人物の影を光として記録することで、向こうの世界と現実のはざまにいる絶対的的他者へ思いをめぐらせる試みである。

* カメラを使わず、物体を印画紙に直接のせてイメージを写し取る写真の制作技法。

ジョン・ハーシェル
John Herschel

サー・ジョン・フレデリック・ウィリアム・ハーシェル准男爵(Sir John Frederick William Herschel, 1st Baronet, 1792-1871)は数学、化学、天文学、光学に長じたイングランドの博学者。はじめてフォトグラフィ(photography)という言葉で包括的に写真を定義し、独自の写真方式であるサイアノタイプ(青写真)も発明した。1816年頃からカメラ・ルシーダを利用したドローイングを制作し、友人のウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボットにも紹介する。このことは、のちのタルボットによる世界初のネガポジ方式による写真技法の発明にもつながっている。

《海辺の断崖にある洞窟、ドーリッシュ、デヴォン》は、1816年の書込みがあり、現存するハーセルのドローイングでは早い時期の制作である。カメラ・ルシーダはプリズムを通して画用紙に眼前の風景を映すため、暗所から明所を眺める場合の方が像を確認しやすい。本作における暗い洞窟から明るい海辺の風景を見渡す構図からは、ハーセルがこの特性を理解して制作したことがうかがえる。

フィオナ・タン
Fiona Tan

1966年インドネシア生まれ。中国系インドネシア人の父とオーストラリア人の母のもと、オーストラリアで育つ。オランダのヘリット・リートフェルト・アカデミー(美術大学)で映像を学び、最高峰のアート・イン・レジデンス施設である国立美術アカデミーでの制作を経て、アムステルダムを拠点に活動する。

《近い将来からのたより》(2003)は、アムステルダム映画博物館(現アイ・フィルム・ミュージアム)の古い記録資料を活用したファウンド・フッテージ*作品。船の帆、波、滝、洪水など、水のモチーフを繰り返して提示し、流れる時間と記憶の関係を詩的なサイエンス・フィクションとして探ろうと試みる作品である。

* 既存の映像を部分あるいは全体に用い、新しく作品を作る手法。

ゲルハルト・リヒター
Gerhard Richter

1932年ドレスデン生まれ。ケルン在住。ドイツを代表する現代美術家の一人。旧東ドイツで美術教育を受けた後、旧西ドイツの抽象表現主義に影響を受け、1961年、ベルリンの壁が祖国を分断する半年前に旧西ドイツのデュッセルドルフへ移住。1997年には第47回ヴェネツィア・ビエンナーレ金獅子賞を受賞。同年、高松宮殿下記念世界文化賞も受賞している。2011年から2012年にかけては、テート・モダン(イギリス)、ボンビトゥー・センター(フランス)、旧国立美術館(ドイツ)で大規模な回顧展が巡回し、近年ではクイーンズランド州立美術館(オーストラリア)など世界各地で個展を開催し続けている。

〈Museum Visit〉シリーズ(2011)は、ロンドンのテート・モダンの来館者を撮影した印画紙の上にエナメルで着彩した作品群である。オーバーペインテッド・フォトグラフ*と呼ばれるこの手法において、エナメルが「境界」として写真の像と鑑賞者を隔て、鑑賞者へ「絵画と写真」「具象と抽象」「現実と仮象」の再考を促している。

* スナップショット的な写真の上に油彩やエナメルで色彩をほどこす手法。